

オシドリのヒナが8羽誕生しました！ ～親鳥について泳ぐ様子を間近でご覧いただけます～

大阪市港区の海遊館では、2019年6月23日（日）にオシドリのヒナが計8羽誕生しました。
一般公開中の「日本の森」水槽では、親鳥と一緒に8羽のヒナが泳ぐ姿を間近でご覧いただけます。



オシドリの子育ての様子（6月29日撮影）

海遊館の「日本の森」水槽の「水鳥」コーナーでは、大阪府の日照時間を基準に、年間をとおして水槽内の照明時間を管理し、生きものたちの健康管理に努めています。

今回、2019年5月2日から5月28日にかけて、1羽のメスが12個の卵を産卵しました。その後、約1か月間、メスが卵を温めた後、孵化に至りました。オシドリのヒナは生まれてすぐ泳ぐことができ、餌は親鳥と同じ雑食性で、植物や昆虫などを食べて成長します。通常、子育てはメスのみで行い、孵化後40～45日ほどで成鳥と同じ姿になり、巣立ちとなります。

今しか見られないモフモフ姿のヒナたちが親鳥についていく様子や、親鳥がヒナたちの様子を見守ったり、羽繕いをしたりしている様子をご覧いただき、生命誕生の素晴らしさを感じていただきたいと思います。

【取材のご案内】

観覧通路から撮影していただけます。取材ご希望の際は、事前にご連絡ください。

※水槽内での撮影は時間、人数ともに制限がございます。

【お問い合わせ】

海遊館 広報チーム 06-6576-5529

■今回誕生したヒナについて

産卵日：2019年5月2日～5月28日 合計12個

孵化日：2019年6月23日 8羽

体長：約10cm（目測 6月26日時点）

体重：不明（未計測）



オシドリのヒナ（6月25日撮影）

※海遊館でのオシドリの産卵および誕生は、今回が初めてです。

■「日本の森」水槽について

「日本の森」水槽は日本の代表的な広葉樹林をイメージした展示で、四季折々の草花も展示している。植物のほか、「コツメカワウソ」、「水鳥」、「オオサンショウウオ」、「溪流魚」、「サワガニ」の5つのコーナーに分かれ、主に淡水域に生息する多種多様な生物を展示している。

「水鳥」コーナーでは、オシドリ3羽（オス1羽、メス2羽）のほか、ゴイサギ、キンクロハジロなどの水鳥と、アユやギンブナなどの魚類を混合で展示している。

※現在、「水鳥」コーナーでは、オシドリが子育てに専念できるよう、飼育展示をする種数を調整しています。

【参考資料】

■オシドリについて

英名：Mandarin duck

学名：*Aix galericulata*

東アジアに広く分布し、日本では北海道や本州中部以北で繁殖する。森林に囲まれた山の湖沼や池を好み、近くの樹洞に巣をつくる。成長するとオスは48cm、メスは41cmほどの大きさになる。主に植物食の雑食性で、雌雄で形態が異なり、オスの冬羽は特に鮮やかな姿をしている。繁殖期は4～7月で、メスは1回の産卵で7～12個の卵を産み、約1か月抱卵する。子育てはメスのみが行い、ヒナは40～45日で成鳥と同じ姿になり巣立ちとなる。



オシドリの雄（冬羽）



オシドリの雌（冬羽）